

東京都渋谷区の温泉採取施設における爆発事故に関する新聞報道

(事故原因に関する報道を中心として)

平成19年6月29日

環境省自然環境局自然環境整備担当参事官室

読者(西)

渋谷で爆発3人死亡

温泉施設の別棟

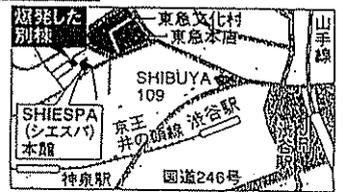
地下1階に 天然ガス引火か 従業員ら8人けが

19日午後3時30分ごろ、東京都渋谷区松涛1丁、女性専用温泉施設「SHIESPA(シエスパ)」の別棟(地下1階地下1階)が爆発して全壊し、中にいた女性従業員ら3人が死亡、通行人を含む計8人が重軽傷を負った。爆発したのは、暖房をとりきる暖房ポンプがある地下1階。警視庁捜査1課は、源泉と一緒には天然ガスの排気管など不具合が生じた結果、ガスが充満し、何らかの原因で引火したと判断。燃焼上過失致死の疑いで20日朝から別棟を本館の捜査で取り出す。△関連記事34・35面

従業員ら8人けが 警視庁きまう捜査



爆発事故のあった温泉施設の別棟。上の茶色っぽい建物は「シエスパ」の本館。(19日午後3時44分、渋谷区松涛で、本社へリから)一田中秀敏撮影



死亡したのは、従業員の藤川弘美さん(22)▽江川区(アルパイト)の日産貿易(株)の(世田谷区)と千代田区(23)▽新橋区。藤川さん(23)▽新橋区は爆発直後別棟から救出された。千代田区(23)は約4時間後に発見されたが、いずれも直後死亡したと見られる。3人の死亡は、北村直美さん(35)が頭部を弾打するなどの重傷で、近くを歩いていた男性(28)もけがを負った。

このほか、アルパイトの北村直美さん(35)が頭部を弾打するなどの重傷で、近くを歩いていた男性(28)もけがを負った。

8人が軽傷を負った。被害に遭った従業員ら5人が別棟にいて爆発に巻き込まれた。当時、スタッフは温泉施設のある本館も締め切っていた。客は本館に約40人いた。けがはなかった。

警視庁捜査1課によると、別棟は地上部分からスタッフ用の休憩所と更衣室で、地下1階は、地下1500センチから源泉をくみ上げる電動ポンプや貯水槽が設置され、道徳を挟んだ本館に源泉を送った後、ポンプで温める仕組みになっている。

地中からは、引火性が高い天然ガスも出たため、別棟では「ガスセンサー」と呼ばれる装置を使い、源泉を本館に送るまでの途中、物たまってガスを分離し、屋外に排気していた。

この設備の保守管理を委託された業者は、捜査1課に、前日の18日午後2時の本館では異常はなかったと説明しているという。

捜査1課では、排気したはずのガスが地下1階に充満したことが爆発の原因とみて20日朝からの捜査で

女性専用の会員制スパ

「シエスパ」は、リゾーニ代表、約40社が2000年1月に開設した。女性専用の会員制施設「シエスパ」(高橋)で、顧客が利用できる本館に

スパ、温泉をサウナなど、床暖房やマッサージを組み合わせた施設。温泉施設で有名な「シエスパ」(高橋)で、顧客が利用できる本館に

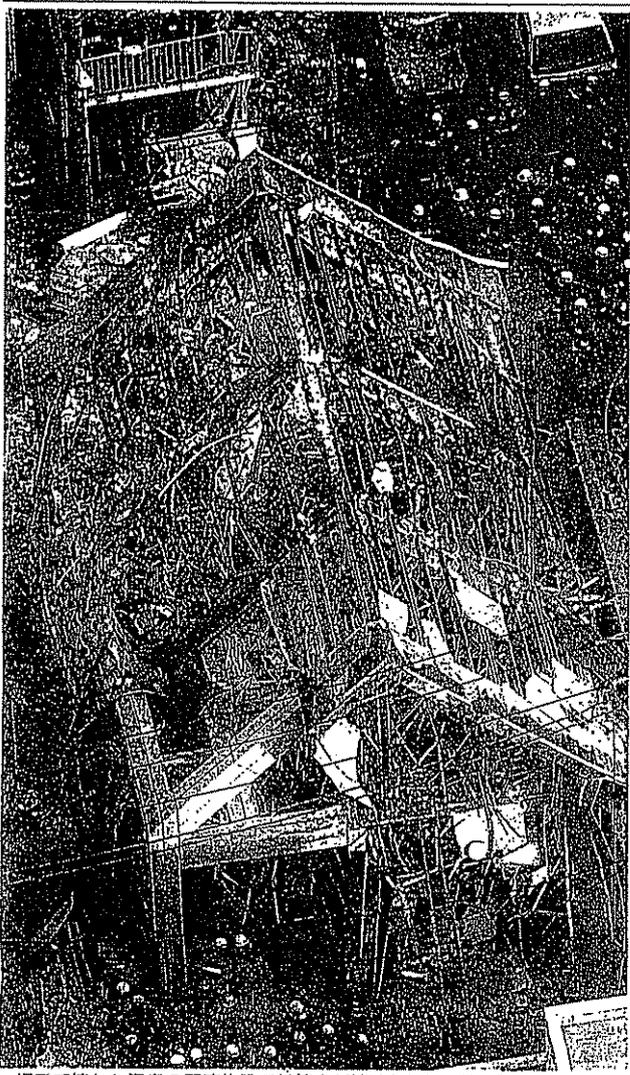
は、温泉のほか、レストランやエステなどがあり、スタッフも全女性で、別棟はスパ専用。JR渋谷駅の西約600メートルあり、回廊前の駅構内にも近い、東急文化村駅手の閑静な高級住宅街にあるスパとして、昨年1月のオープン以降、雑誌やテレビに取り上げられるなど人気を博していた。

温泉施設爆発3人死亡

渋谷繁華街 天然ガス引火か 3人重軽傷

19日後、時半ごろ、東京都渋谷区松濤1丁目の温泉施設「渋谷松濤温泉シエスパ」の従業員用施設で爆発が起きた。建物は一全壊し、従業員3人が死亡し、通行人を含む3人が重軽傷を負った。施設の地下には温泉水を地中からくみ上げる設備がある。警視庁は、くみ上げの際に漏入する天然ガスが充満し、何らかの原因で引火した疑いが強いと判断。業務上過失致死傷容疑で20日に加藤を逮捕するなどして爆発の経緯を調べ、管理責任の有無を捜査する。 34・35面に関係記事

経済産業省原子力安全・保安院も調査のために現場に職員を派遣した。死亡したのは、日籍員尾崎(61) 日田谷区池尻II之藤川広栄さん(22) 江古川区東小岩II、千野明菜さん(23) 新宿区高田馬場。死者は従業員用の別棟B棟で休憩中を死していた。千野さんはがれきの下敷きになり、約4時間後に救出されたが、間もなく死亡が



爆発で壊れた温泉の関連施設では捜索が続けられた。19日午後4時6分、東京都渋谷区松濤1丁目、本社ヘリから、堀英治撮影

つたほか、通りかかった男性(28)が顔に怪傷。現場にいた5人が首の違和感などを訴えている。投差し腰などの胸へた下1階建て、地上部分B棟が更衣室と休憩室、階

は、鉄筋の地十階、地下1階建てで、地上部分B棟が更衣室と休憩室、階

されたビル管理の社員が担当。B棟は毎日午後11時以降に点検しており、18日午後2時33時に点検し、異常はなかったという。温泉水はB棟のタンクから地下のパイプを通じてA棟に回り、ボイラーで温めたらえ館内に供給されているという。平日の同時時間帯には100人ほどの客がいるといい、爆発時めかきりの客の客がいたとみられる。加藤は女性客専用で

建の温泉施設(A棟)と遊歩場を挟んで位置していた。東京消防庁が確認しただけで、爆風などで付近の建物28棟、車両12台に被害が出た。B棟地下には、地中約1500センチからくみ上げた温泉水をためるタンクやくみ上げ設備がある。温泉水に漏入する天然ガスを分離し、排出する設備があるが、排気されなかった疑いがあるという。設備の保守は、委託

昨年1月開業。藤川さんする社員、日籍さん千野さんはレストランのアルバイトスタッフだった。一俣で、商業施設や住宅現場は渋谷の繁華街の一角で、商業施設や住宅

現場は渋谷の繁華街の一角で、商業施設や住宅